

## 写真展

## 今森光彦の地球昆虫紀行



キイロツノギスの顔 © 今森光彦

佐野美術館は、2025年4月13日[日]から6月29日[日]まで、「写真展 今森光彦の地球昆虫紀行」を開催します。昆虫の驚異的な姿を芸術性豊かに捉えた写真集『昆虫4億年の旅』で、第28回土門拳賞を受賞した今森光彦氏。本展では、熱帯雨林から砂漠まで世界中を取材し撮影した昆虫の写真作品約100点を展示します。大自然に生きる小さな生命と出会う旅をお楽しみください。

## 展覧会について

戦士のような面がまえのキイロツノギス、世界のクワガタとカブト、糞を転がすコガネムシー世界各国を取材しフィルムで撮影された独創的な今森作品。本展は、高画質で色鮮やかな銀塩写真プリントにより、作品をお楽しみいただけます。作家の解説とコメントとともに、地球上に生きる小さな生命、昆虫の不思議な世界をご案内します。

国内の里山に生きる昆虫や、その生息環境についての展示もみどころの一つです。里山の生態系に入り込み、撮影を行う今森氏の里山写真と、長年にわたり取り組んでいる里山環境の再生活動について紹介します。

また、切り絵作家としても活躍する今森氏の、立体昆虫切り紙作品も展示し、多角的に昆虫の魅力に迫ります。

子どもから大人まで楽しめる昆虫たちの作品を通じて、昆虫の生きる自然環境に思いをはせていただける内容です。

## 開催概要

展覧会名：写真展 今森光彦の地球昆虫紀行

会期・時間・休館日：2025年4月13日[日]ー6月29日[日] 10:00ー17:00（入館の受付は16:30まで） 木曜日

会場：佐野美術館（411-0838 静岡県三島市中田町1-43）

入館料：一般・大学生1,300円、小・中・高校生650円

主催：佐野美術館、三島市、三島市教育委員会 後援：静岡県教育委員会 協賛：伊豆箱根鉄道株式会社

協力：富士フィルム株式会社 企画制作：有限会社オーレリアンガーデン、クレヴィス

展覧会公式サイト：<https://sanobi.or.jp/exhibition/imamori-mitsuhiko2025/>

## 展覧会関連イベント

### ■今森光彦さん来館記念イベント

ギャラリートーク&サイン会 5月17日[土] 14:00ー、5月18日[日] 11:00ー

切り紙ワークショップ 5月18日[日] 14:00ー15:30

### ■土曜の工作イベント

フローティングボトルをつくろう 会期中土曜日（5月17日を除く） 10:00ー15:00

## 広報用画像

展覧会紹介のための作品画像のデータ等を、プレス関係の方向けにご用意しています。①～⑦の画像を提供できますので、電話またはメールでご連絡ください。

※本展紹介以外での使用、本展終了後の使用、二次利用はお断りします。画像使用の際に、展覧会名、会期、会場、作品クレジット（①は不要）を必ずご記載ください。画像は全図で使用してください。



①



②

戦士のような面がまえのキイロツノギス。コストリカ



③

ウェディングボールは、産卵し幼虫を養うために使われる。ウェディングボールを数m運び、適当な場所が見つかったと地下に埋める。この重労働をオスは1匹でやる。ケニヤ



④

東南アジア最大のカブトムシ、コーカサスオオカブトムシ。喧嘩は迫力がある。マレーシア



⑤

ボウバツタの仲間やナナフシボウバツタの仲間は、南アメリカにすむ風変わりなバツタだ。筒状の長い体をしていて、羽がない。最大のオウサマボウバツタもこの仲間だ。褐色の体色をしているため、枯葉上にいても目立たない。ものに驚くとピョンとはねる習性をもっている。また時には、木の枝にとまり、ナナフシのように脚をすぼめて、枯れ枝に擬態するようなものもいる。ブラジル



⑥

南米に棲む腹部にたいへん奇妙な飾りをつけたヨツコブツノゼミ。ブラジル



⑦

花にやって来る小昆虫を待つ。里山に普通に見られるハラビロカマキリ。日本

### 作品クレジット

②キイロツノギスの顔 ©今森光彦

③アフリカタマオシコガネのペア ©今森光彦

④コーカサスオオカブトムシ ©今森光彦

⑤ムネトゲボウバツタのオス(右)とメス(左) ©今森光彦

⑥ヨツコブツノゼミ ©今森光彦

⑦ハラビロカマキリ ©今森光彦